

利用促進について

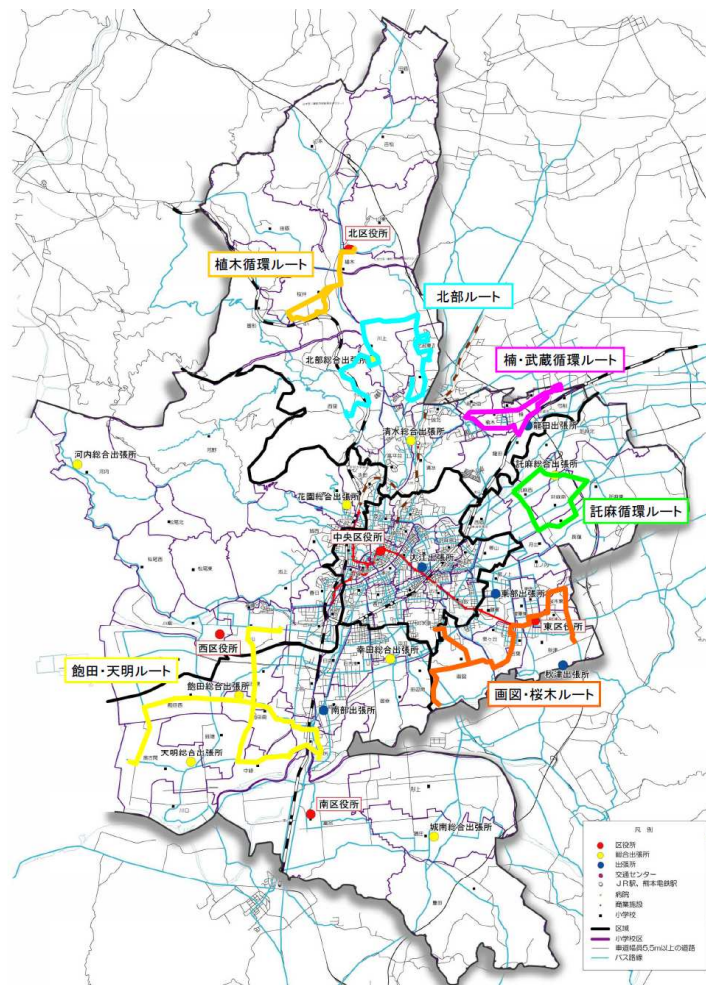
(1) 一定期間のお試し利用について

○目的

新規路線であるコミュニティ路線については、全く認知度が低いことから、まずは体験乗車感覚で利用できるように、無料でのお試し乗車を行い、バスの魅力や便利さを知ってもらう。

○対象路線（案）

コミュニティ路線の6路線（平日運行）



○実施期間（案）

（案1）平成24年4月2日（月）～4月6日（金）（約1週間）

（案2）平成24年4月2日（月）～4月13日（金）（約2週間）

（案3）平成24年4月2日（月）～4月27日（金）（約1か月）

(2) 愛称の募集について

○目的

- ・ネーミングにより、親しみと愛着を持つことができる。(分かりやすい)
- ・既存路線と差別化できる。
- ・バスのイメージアップ

○愛称パターン

(案1) 区バスコミュニティ路線の総称(6路線を総称した愛称)を募集

○○○○バス(全体の愛称)

- ①植木ルート
- ②北部ルート
- ③楠・武蔵循環ルート
- ④託麻循環ルート
- ⑤画図・桜木ルート
- ⑥飽田・天明ルート

(案2) 区バスコミュニティ各路線の愛称を募集

- ①植木ルート・・・○○○バス
- ②北部ルート・・・△△△バス
- ③楠・武蔵循環ルート・・・□□□バス
- ④託麻循環ルート・・・●●●バス
- ⑤画図・桜木ルート・・・▲▲▲バス
- ⑥飽田・天明ルート・・・■ ■ ■バス

※コミュニティ路線全体のイメージを確立したいので、全体の愛称を募集したいと考える。

(3) 車両デザインについて

○目的

- ・子どもや高齢者でも、見た目で既存バスを差別化できるようにする。
- ・バスのイメージアップ

○デザイン数(案)

(案1) コミュニティ車両全体の1種類

(案2) 各路線の6種類

※路線ごとにデザインを変えた場合は、車両が複数ルートで運用することができないことから、デザインは(案1)の1種類としたい。

○（案１）でのデザインパターン

（案１－１）全車両同じデザインの１種類



（例）武蔵野市ムーバス



（例）さいたま市コミュニティバス

（写真は各市ＨＰより）

（この場合、路線が簡単に分かるように、路線ごとのイメージマークが付けられないか検討する。）



このように、路線ごとにマークが付けられないか検討する。
（写真：市営バスの動物マーク）

（案１－２）デザインの統一イメージを保ちながら、各車両でデザインの１部分を変える。（バラエティに富んだ車両）

（例：車両に果物マークを付け、各車両で種類を変更する等）



※デザインを一般公募するのではなく、熊本市・バス会社で数種類作成した中から、愛称募集と合わせてどのデザインが良いか投票してもらい、その意見をデザイン設定の参考にしたい。